

学校だより 感動 夢 挑戦 せせらぎ通り

2020年1月発行 南行徳小学校 校長 石原 淳一

2020年スタート

令和2年が始まりました。昨年は、保護者や地域の皆様のおかげで無事に過ごすことができました。本年も引き続きよろしくお願いたします。

さて、現在2年生と3年生の廊下にサケの稚魚がいます。「隅田川鮭の会」と「入間川にサケを放す会」からいただいた卵です。「大きなイクラだ」「食べた〜い」など、初めて見たサケの卵に子どもたちは興味津々でした。

サケが来てから数日後、わずかに動く卵がありました。次第にその数は増え、動きも大きくなりました。やがて、卵の形が変わり、稚魚へと成長していきました。卵は、みんな同じように成長するわけではありません。早く稚魚になる卵もあれば、動かない卵もあります。成長の過程は同じでも、その速度や様子は卵によって違います。



子どもの成長も同じです。年齢を重ね、大人になるという道は同じでも、その成長の速度や内容は、一人ひとり違います。南行徳小には、723通りの成長があります。学んだことを「すぐ覚える」「10回練習して覚える」「少しずつ覚える」「まわりの様子を見ながら覚える」等々、その成長の過程は様々です。その違いを受け止め、認め合える子ども同士の関係を今年も育てていきたいと思ひます。

2020年は、新学習指導要領が全面実施されます。新学習指導要領では、学校に「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として認識し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くことができるようにする」ことを求めています。本校でも、学習や生活の場において、友達同士で認め合ったり、より良い考えを追求したりする活動を行っています。また、友達と意見や思いが異なることも、ひとつの学びの場です。異論を知り、受け入れながら、より良く納得できる方法を模索する機会となります。子ども同士のトラブルも723通りの思いがある学校だからこそ生まれる学びの場ととらえ、「他者の思いを知る機会になった」ことを学ばせていきたいと考えています。

ご家庭でも、お子さんが他者と思いの行き違いがある場面に遭遇した時は、お子さんの思いを十分に聞いたうえで、「相手はどう考えていたのかな」と聞いてみてください。相手の思いを考えたとき、自分の思いとのすり合わせができるかもしれません。その時こそ、お子さんが一回り成長した時です。

夏にはオリンピック、パラリンピックがあり、世界中の国や地域の方が日本にやってきます。子ども達の目がさらに広がっていくまたとない機会としたいものです。





行事予定

日	曜日	校内行事	日	曜日	校内行事
6	月	新年の朝会	19	日	防災拠点及び避難所開設訓練
7	火	発育測定	20	月	校内書き初め展～24日 まなびくらぶ
8	水	給食開始 定例研 発育測定	21	火	1年生昔遊びの会
9	木	発育測定 委員会	22	水	ありんこ読み聞かせ
13	月	成人の日	23	木	PTA 理事会
15	水	クラブ まなびくらぶ	29	水	クラブ(3年生クラブ見学) まなびくらぶ
16	木	5年夢の教室	30	木	特別支援教育振興大会
17	金	5年夢の教室	31	金	研修会のため時程変更

昔のことを学びました。(1年生・3年生)

12月5日(木)3年生は、湊にお住いの田中愛子氏から行徳地区の昔の様子について教えていただきました。南行徳小の周りの様子や当時の子どもたちの過ごし方などを聞いたあつという間の1時間でした。午後からは、1年生が田中愛子氏と狩野一廣氏から昔の遊びについて教えていただきました。本物の竹馬を見せていただいたり、様々な昔の遊びを教えていただいたりしました。

佐原で学びました。(4年生)

12月6日(金)4年生は佐原に社会科見学へ行きました。「北総の小江戸」と呼ばれる佐原市内を歩き、木造の古い家や銀行、狭い路地など南行徳とはまるで違う風景を知りました。また、「ちば醤油」の工場を見学しました。工場では、醤油が作られる過程を見るとともに、大豆が蒸されたり炒られたりするときのにおいをかぎ、醤油が丁寧に作られていることを知りました。伊能忠敬記念館も見学し、江戸時代に日本中を歩いて地図を作った伊能忠敬の功績を知ることができました。



ありがとうございました。

本校の卒業生の「備後屋」さんのご厚意で運動会の優勝トロフィーとサッカーゴールの安全マットを購入することができました。令和2年度の運動会は新しいトロフィーとなります。安全マットのおかげで、運動場で休み時間も元気に遊ぶことができます。



1年2組担任の宮田瑞貴は、体調不良のため療養休暇をとっておりましたが、12月6日より体調が回復したため、1年2組担任に復帰しております。